＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
MaaS基本計画策定業務委託

1 事業概要

【目的】
燃料費高騰、運転士不足など公共交通をめぐる環境が厳しさを増しています。一方で、高齢化の進展により移動困難者が増加することが想定されており、地域の移動手段の確保のため、ＡＩオンデマンド交通等新たなモビリティの導入検討が求められています。
地域の実情を踏まえ、既存公共交通との連携を図りつつ、効率的な移動手段を確保し、地域の移動手段を確保・維持するため、ＭａａＳ（Mobility as a Service）に係る基本計画を策定します。

【内容】
既存の公共交通との調整を図るとともに、地域の実情を調査した上で地域特性に応じた適切な移動手段を確保するため、ＩＴを活用するなどにより利便性の向上した新たなモビリティの導入を効果的に進めるための計画を策定します。

【効果】
既存の公共交通の利用促進に繋げるとともに、ＡＩオンデマンド等新たなモビリティの導入を検討することで、合理的かつ利便性の優れた公共交通の実現を計画的に進めます。

2 特徴やPRポイント

・令和６年４月からバス運転者の改善基準告示が改正され、バス運転者の拘束時間や休息時間が変更されます。また、バス運転者に必要な大型二種免許保有者数も減少・高齢化が進展しています。このような事情を背景に、ゆうゆうバスはダイヤの見直しを行います。

・市民の高齢化が進展することが推計され、今後、公共交通の需要が一層高まる中、公共交通の充実を図るためにはＩＴによる合理化等が避けて通れないことから、新たなモビリティの導入を検討します。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　蟻川、樋口
連絡先　℡：048-524-1111　　内線　528

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
まちなかウォーカブル推進事業

1 事業概要

【目的】
官民が一体となり、星川通り周辺の滞留空間の整備やグリーンスローモビリティの導入検討など、まちなかに快適に過ごすことができる空間を創出することで、居心地がよく、歩きたくなるまちづくりを推進します。

【内容】
星川通りの広場の整備、グリーンスローモビリティの実証実験に向けた検討、遺贈財産の活用検討や、（一社）熊谷まちなか再生エリアプラットフォームが実施する若者交流拠点や民間ビルの公共トイレの整備等に対する補助を行います。

【効果】
官民が一体となって、まちなかに快適に過ごすことができる滞留空間を創出することで、まちなかで過ごす人々が増え、ゆるやかなにぎわいを生むことができます。

2 特徴やPRポイント

市や地元企業、大学が連携し、令和４年度に策定した「熊谷まちなか再生未来ビジョン」に基づき、（一社）熊谷まちなか再生エリアプラットフォームが実施する事業に補助することで、民の力を活用したまちづくりを推進します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　斉藤
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　545

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
秩父鉄道大麻生No.9踏切交通安全対策事業

1 事業概要

【目的】
地域交通の安全性、利便性向上のため、川原明戸地内の秩父鉄道大麻生No.9踏切を拡幅整備し、隣接する第４種踏切の大麻生No.8踏切を閉鎖します。

【内容】
大麻生No.9踏切を4メートルから6メートルへ、当該接続道路の約50メートル区間については、有効幅員5メートルから6メートルへ拡幅整備し、併せて、遮断機や警報機のない大麻生NO.8踏切を閉鎖するものです。

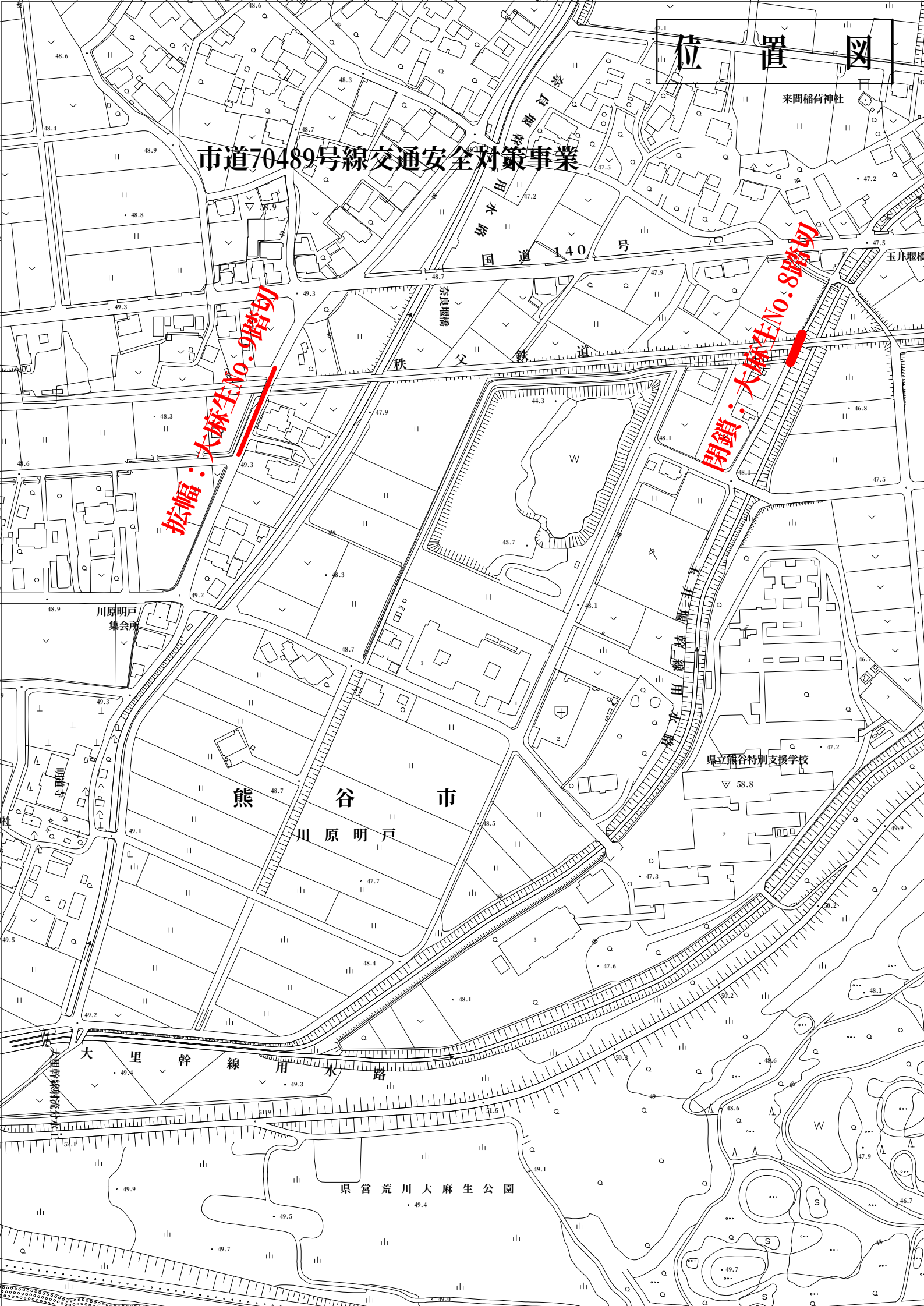
2 特徴やPRポイント

車両のすれ違いが可能となり、地域住民や県立熊谷特別支援学校の送迎等の安全性、利便性の向上を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部道路課　　担当　川名　竜太郎
連絡先　℡　048－524－1111　　内線　457


位置図
市道70489号線交通安全対策事業
拡幅・大麻生No.9隅切
閉鎖・大麻生No.8隅切
来間稲荷神社
国道140号
玉井堰橋
奈良堰橋
秩父鉄道
川原明戸集会所
熊谷市
川原明戸
県立熊谷特別支援学校
大里幹線用水路
県営荒川大麻生公園

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）万吉村岡線道路改良事業

1 事業概要

【目的】
地域交通の安全性、利便性の向上を図るため、歩道整備と交差点改良をを行います。

【内容】
当該路線（市道90283号線、市道大里68号線、市道大里167号線）を現況幅員5.0mから、計画幅員9.5m（右折帯設置部は12.5m）に拡幅し歩道整備を行います。（歩道幅員2.5m）
令和6年度は、現況測量を行います。

2 特徴やPRポイント

当該路線は大里方面、江南方面を結ぶ主要なアクセス道路となっていますが、幅員が狭く危険な状況です。
歩道を整備と交差点改良を行うことにより、地域交通の安全性、利便性の向上を図ります。

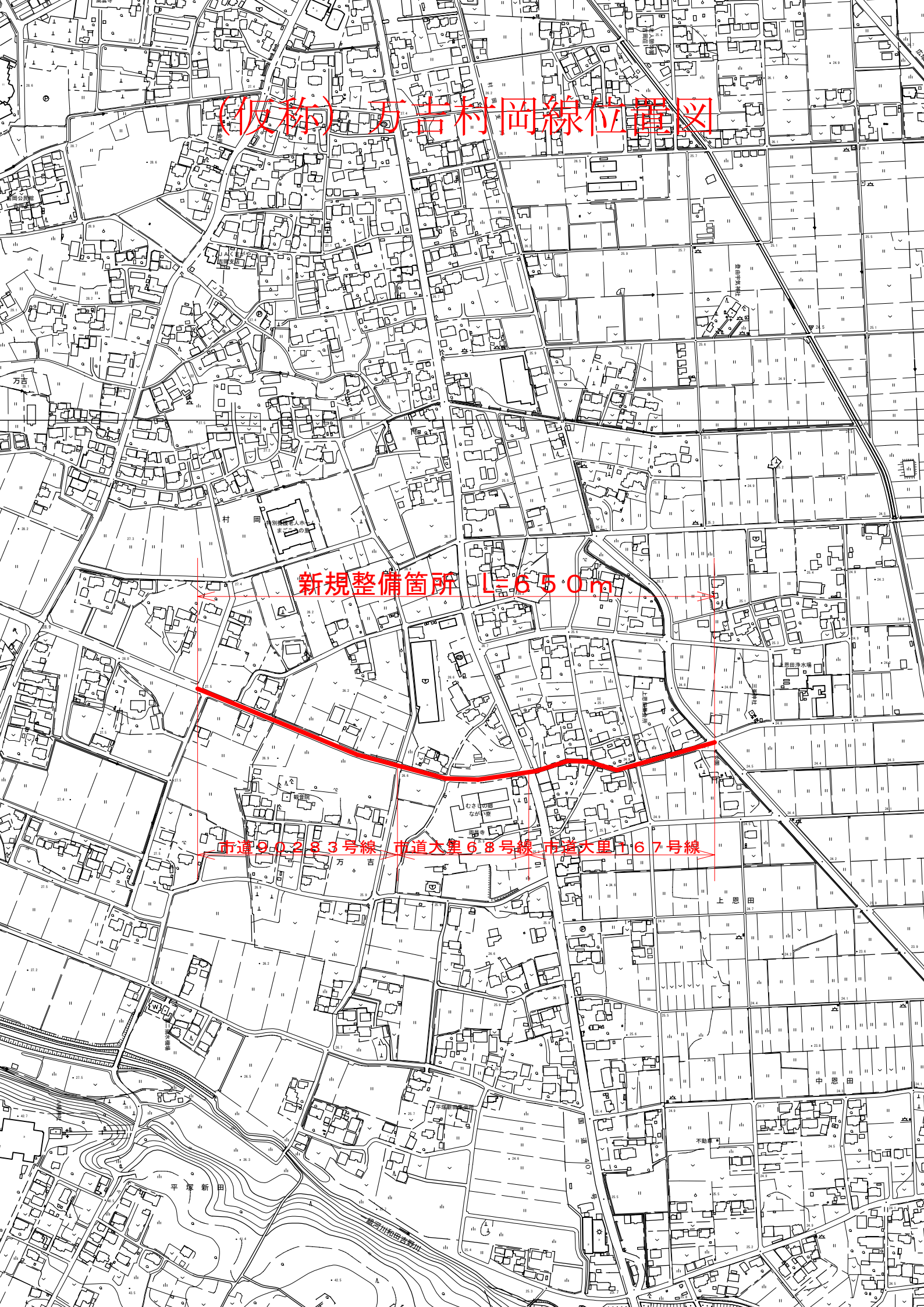
3 その他

【事業予定】
令和6年度から測量等の調査業務を行い用地買収等が順調に進めば令和10年度以降に工事着手の予定。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部道路課　　担当　川名　竜太郎
連絡先　TEL 048－524－1111　　内線　457

（仮称）万吉村岡線位置図


新規整備箇所　L=６５０m
市道９０２８３号線
市道大里６８号線
市道大里１６７号線
村　岡
万　吉
上　恩　田
中　恩　田
平　塚　新　田
上恩田浄水場
観音院
不動車

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷駅南口周辺再整備促進事業

1 事業概要

【目的】
熊谷駅南口周辺の民間主体によるまちづくりの事業化を促進し、低未利用土地（駐車場等）の高度利用化を図ります。

【内容】
熊谷駅南口周辺における土地利用の検討として、概略まちづくり基本調査、事業手法や整備区域の検討、設計概略図の作成、民間活力の導入検討調査、庁内や交通事業者等との検討会を開催し、合意形成を進めていきます。

【影響・効果】
熊谷駅南口周辺の民間開発の促進や、低未利用土地（駐車場等）の利用転換による、他のプロジェクトと連動したにぎわいの創出、居住人口や税収の増加等、エリア価値の向上が期待できます。

2 特徴やPRポイント

【特徴・ＰＲポイント】
県北最大の交通結節点かつ市民活動・経済活動の拠点である熊谷駅前の活性化に向けて、エリアの高いポテンシャルを活かした民間開発の機運醸成や、公共空間等の整備による高度利用の実現に向けて都市機能の誘導を促進します。
また、将来的ににぎわいのある駅前空間の創出に繋げるため、一体的なまちづくりを促進します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　小谷、荒川
連絡先　℡0493-39-4814（直通）　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷運動公園子供広場整備事業

1 事業概要

【目的】
夏場に子どもたちが水で遊べる施設や、スケートボードができる環境整備を求める声に応えるため、公園内に新たな施設の整備を進め、市民に親しまれる公園へとリニューアルします。

【内容】
屋内プールに隣接する広場に、熊谷の暑い夏の新たな憩いの場となるような水辺環境施設を整備します。また、スポーツ環境の向上のため、新たにスケートボードエリアを整備します。

【影響】
幅広い世代に利用いただける施設ができることで、公園全体のイメージアップと活性化に繋がります。

【効果】
新たなレジャー施設として、市内だけではなく近隣市町からの利用増加が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

噴水のあるじゃぶじゃぶ池などの水遊び場や、市内で２か所目となるスケートボートができる場を整備することで、親子で楽しめ、屋外で身体を動かす新たな機会を創出します。

3 その他

令和６年度に整備を行い、令和７年度の利用開始を予定しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部　公園緑地課　　担当　杉浦
連絡先　℡　0493-39-4806　　内線

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
生活道路及び排水路の整備の推進

1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び通行の安全性に配慮した生活道路の整備と、道路の維持管理を行い生活環境の改善を図るとともに、排水路整備では浸水被害が頻発している地域において浸水被害軽減対策を行います。

【内容】
○道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
○道路維持経費
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装補修と街路樹等の管理を行います。
○排水路等維持管理経費
排水路環境改善のための整備や除草等の管理を行います。

【効果】
生活道路の利便性の向上、道路の適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。

2 特徴やPRポイント

○道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
○道路維持経費
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
○排水路等維持管理経費
除草作業の軽減を図るため、防草コンクリート施工による恒久的な対策を講じます。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部　道路課　担当　中澤
建設部　維持課　担当　金子
建設部　河川課　担当　水野

連絡先　（道路課）TEL　048－524－1111　内線　352
（維持課）TEL　048－524－1111　内線　540
（河川課）TEL　048－524－1111　内線　355